

授業概要

経済学に関する予備知識は、一般にほとんどないと思われるので、何よりも、経済とは何か、経済学とはどのような学問なのかについてのイメージを持てるようにしたい。経済学の歴史と理論と現実問題について基本的な理論と知識を講義する。この授業によって、経済学的な物の考え方を習得し、経済関連のニュースに関心を持てるようにすることを目標に講義を行いたい。

授業計画

第1回	経済とは何か
第2回	経済学の歴史（1）
第3回	経済学の歴史（2）
第4回	経済学の歴史（3）
第5回	貨幣の理論（1）
第6回	貨幣の理論（2）
第7回	経済の基本的法則（1）
第8回	経済の基本的法則（2）
第9回	経済の基本的法則（3）
第10回	資本主義の生成
第11回	資本主義の発展
第12回	国際経済体制
第13回	国際通貨体制
第14回	バブルとその崩壊
第15回	経済学の諸問題
第16回	定期試験

到達目標

経済学の歴史、理論、現状についての基本的な知識を習得すること。

履修上の注意

講義ノートを中心に学習すること。
経済関係の時事問題に関心を持つこと。

予習復習

ノートを読み直して整理すること。

評価方法

定期試験のほかに中間試験を課す。定期試験 60%、中間試験 40%の配分で評価する。ただし、変更する場合もある。

テキスト

授業中に参考文献を指示する。

授業概要

現在の日本経済や世界経済にかかわる主要なトピックをとりあげて、経済学の基礎的な分析方法を提示しながら、具体的に説明する。受講生も少なくとも一つのトピックについて関連する文献（新聞記事など）を自分で調べてほしい。

授業計画

第1回	講義の目的と構成
第2回	経済成長と雇用（1）
第3回	経済成長と雇用（2）
第4回	経済成長と雇用（3）
第5回	金融と経済（1）
第6回	金融と経済（2）
第7回	金融と経済（3）
第8回	財政と経済（1）
第9回	財政と経済（2）
第10回	財政と経済（3）
第11回	グローバル化（1）
第12回	グローバル化（2）
第13回	ケインズ政策とネオリベラル政策（1）
第14回	ケインズ政策とネオリベラル政策（2）
第15回	新しい経済システムを展望する
第16回	定期試験

到達目標

- ・現代のさまざまな経済現象への関心を高める。
- ・経済現象にアプローチする基礎的な知識を修得する。
- ・自分で問題を発見する能力を育成する。

履修上の注意

- ・シラバス（授業計画）および統計を配布するので、毎週必ず持参すること。また一度しか配布しないので注意して下さい。
- ・シラバスには授業内容の概要しか記載されていないので、しっかりノートをとること。
- ・講義の最後に出席調査を兼ねて、その日の講義内容をまとめてもらいます。
- ・やむをえない場合を除き、欠席・遅刻は認めない。また授業中のおしゃべりとスマホは厳禁です。

予習復習

- ・シラバスとノート、そして統計を利用して復習してください。

評価方法

- ・講義のなかで小テストをする
- ・小テストと期末試験を総合的に判定して成績を評価する。

テキスト

- ・テキストは指定しないが、関連する資料を配付する。